

山口県立美術館の

「没後400年 雲谷等顔展」と瑠璃光寺を巡る



見学バスツアー参加申込書



日時

2018年12月2日(日)
8時00分～19時30分



行程

鹿島 == 佐賀 == 瑠璃光寺(参拝・昼食)
8:00 9:00 12:00～13:30

== 山口県立美術館 == 佐賀 == 鹿島
13:45～15:30 18:30 19:30



☆金子剛さんの作品解説

より深く作品を鑑賞できる、雲谷等顔についての解説を車中で開催します。

【演題】 「雲谷等顔について」

【講師】 金子剛さん

日展会友、東光会常任審査員、佐賀県美術協会顧問、鹿島美術人協会顧問。
2006年の「佐賀県芸術文化賞」受賞をはじめとして東光展において数々の賞を獲得、2016年には地域文化功労者文部科学大臣表彰を受けた。



▲金子剛さん

バスツアー案内

雲谷等顔について

雲谷等顔は萩藩毛利家のお抱え絵師で、雲谷派の祖にして、桃山画壇の巨匠。天文16年(1547年)に現在の鹿島市能古見で生まれたといわれ、京都で画業修行に励んだ。安芸を本拠とする戦国大名毛利輝元に召し抱えられ、雪舟の『山水長巻』(毛利博物館蔵)と雪舟の旧居『雲谷庵』(山口市)を与えられ、雪舟の正当な継承者として雲谷派を立ち上げた。元和4年(1618年)に没している。

見どころ

☆山口県立美術館



「山口県の特徴を發揮する郷土色豊かな美術館」「県民が参加する開かれた美術館」を基本方針に掲げ、昭和54年に開館した。今年は、雲谷等顔没後400年にあたり、34年ぶりに史上最大規模の回顧展を開催。雪舟の後継者として、水墨画の表現を極めた等顔の画業の全貌に迫る。

★当日、美術館学芸員によるプチ ギャラリートークあり★

☆国宝 瑠璃光寺五重塔



大内氏26代盛見が、兄の25代義弘の菩提を弔うため、五重塔の建立を計画。嘉吉2年(1442年)に完成したといわれている。全国に現存する五重塔のうちで10番目に古く、美しさは日本三名塔の一つに数えられ、室町中期における最も秀でた建造物と評されている。高さ31.2メートル、塔身は上層部に向かって細くなっている。ちなみに、日本三名塔の他2基は、奈良県の法隆寺と京都府の醍醐寺にある五重塔。

キリトリ

申込書

氏名				電話番号		
住所	(〒 -)					
乗降場所	支払方法	会員期限	来館・TEL (/)			
鹿島・佐賀	現金・振込	年 月	受付者:			

【旅行企画・実施】 祐徳旅行株式会社

【申込・問合せ先】 (一財) 鹿島市民立生涯学習・文化振興財団 (エイブル2階)
〒849-1312 佐賀県鹿島市大字納富分2700-1
TEL 0954-63-2138 FAX 0954-63-3424

【定員】 35人(先着順)

【参加費】 一般: 8,300円 会員: 7,300円

(昼食代、山口県立美術館入館料、保険料込)

※エイブル倶楽部に入会していただくと1,000円引きです。

ご入会は、エイブル2階事務局でお申し込みください。

【申込期間】 10月10日(水)～11月20日(火)

※定員になり次第締め切りますので、ご了承ください。

【申込方法】 右記の申込書を記入し、エイブル2階事務局へ直接お持ちいただくか、お電話でお申し込みください。